

# パイテント (3K×5K強風用)

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
作業準備	設置前打ち合わせ	設置場所(スペース)、テントの間口(向き)を事前に打ち合わせする。  現場の環境(風、地盤)を調べ、養生方法を決める。	養生のスペースも確保すること。  地盤を見極め、杭、ウエイトどちらか養生を決め、風が強い場合は養生を通常より増やす。(状況に応じて幕を外しておき、足も伏せておく。)



部材確認

左から順に各部材の名称です。

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| ①補助合掌×6                  | ⑥外合掌×2        |
| ②1. 7K桁×6                | ⑦中合掌×2        |
| ③1, 7Kムネ×3               | ⑧中足×4         |
| ④3K桁(外側)×2<br>(オス、メス×各1) | ⑨外足×4(左、右×各2) |
| ⑤3K桁(内側)×2<br>(オス、メス×各1) | ⑩火打×12        |

※②と③は同じ様な部材だが②には筋交をつける部分がついています。

※④と⑤の見分け方は桁の部分に火打を差し込む穴になった金具が両側についているか、片側しかついてないかを見る。片側は外、両側は内になります。

※⑥と⑦はムネを差し込む穴が両側についている方が中合掌、片側が外合掌になります。



3 K 桁の火打の穴  
外足

3K桁のオス、メス  
外合掌

※桁を入れる穴の位置が高い方が内側にくるようにすること。



設  
営  
作  
業



- ①補助合掌
- ②1. 7K桁
- ③1. 7Kムネ
- ④3K桁(外側)
- ⑤3K桁(内側)
- ⑥外合掌
- ⑦中合掌
- ⑧中足
- ⑨外足
- ⑩火打

部材を確認したら上の写真のように部材をならべます。



部材をならべたら次は、足に桁、合掌を差し込んでいきます。

設  
営  
作  
業



部材を差し込んでいき上の写真のような形をつくります。



部材が組み終わったら天幕を掛けていきます。4～5人で天幕の端を持ち部材に掛けていき角と屋根の真中の部分を合わせていき、角の部分の紐を結んでいきます。



天幕を掛けたら足を起こしていきます。各足に1人ずつで行ってください。

※桁が抜けないようにする為、桁を差したところの下の方を持ってください。

設営作業



片足を上げたら足にボルトを入れ固定します。また、天幕の内側の紐もこの結んでいきます。そこまでできたらもう片方の足をあげてボルトを締めます。



これで完成になります。撤去時はこの逆の手順で行います。